

な意見やアイデアも言い出しやすい雰囲気づくりをします。時代の変化、環境の変化にも柔軟に対応できる発想と、円滑で有意義な会議を行う力を身に着け、自治体や地域に必要とされたときに力を発揮できる人材をひとりでも多く増やします。

【共通知識と情報の共有】

価値観も職業も異なるメンバーが共通の知識を持つと、メンバー内の意識が改めてひとつにまとまり団結できます。J Cセミナーや勉強会など学びの場を多く設け、さらにメンバー各々が持っているスキルや情報を共有します。さらに、青年会議所の日々の活動報告についてはSNSを活用し、メンバー全員で投稿や掲載をすることで皆の情報発信力をアップします。様々な周知方法を行い、より広い地域へ運動を広げます。

【T r y】

やったことのないことをあえてやるから身につくものがある。難しいことですがあえて未知の分野にも目を向け、周りを巻き込みながら飛び込んでみる。他の青年会議所や関係諸団体、他団体からも自分たちにはないもの、良いものを探し、肯定から入る。井の中の蛙となることなく積極的に学びに挑戦します。

【結びに】

J Cでは、「役職は与えられるもの」、やりたい役職につくのではなく皆から役職を任せられ新しい立場に立たされるのです。そして「役職が人を育てる」、不安を抱きながら役を全うすると引き受ける前と景色が変わっていることに気が付き自分を振り返る。そこで「J Cは単年度制」、一年でやりきれた役や次の一年があれば完成したと感じる役、それぞれの感想を持ちながら毎年更新されます。しかし「40歳で卒業」、やり残したことがあってもどんなに活躍しても、40歳までという期限付きです。だからこそ、限られた機会を大切にしていきましょう。J Cに入会しなければ知り合うことのなかったまちの人々や各地の同じ志を持った仲間たちから、たくさんの刺激を得て常に感謝の心と向上心を持ち、周囲に希望の種を蒔くことを積極的に続けてまいります。

《基本理念》

豊かなひとづくり、豊かなまちづくりに貢献する

《基本方針》

他者を認め常に学び進化し続ける

《スローガン》

正しい行いは迷わずやれ